

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科 昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床神経学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 火曜2限	教室名	4校舎401教室
担 当 教 員	田中敬子	実務経験と その関連資格	ペルランド総合病院(約2年)、(旧)大阪厚生年金病院(約11年)、大阪回生病院(6年)			
《授業科目における学習内容》						
神経疾患の症候について専門的知識を得て、言語聴覚障害について理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
言語聴覚士テキスト(医歯薬出版株式会社)第3版を教材とし、病気がみえる7脳・神経(株式会社メディックメディア)第2版を参考図書とする。						
《授業外における学習方法》						
テーマ毎に小テストを行うので、該当箇所を復習することが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
蛍光ペンなどを使いポイントがわかりやすい教材にすること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の解剖・生理について理解する。	配布プリント、言語聴覚士テキスト	該当箇所を予習のこと	
		各コマにおける授業予定	テキスト1章について説明します。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経学的検査、神経症候学について理解する。	同上	同上	
		各コマにおける授業予定	テキスト2、3章について説明します。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床神経学各論の中の、脳血管障害について理解する。	同上	同上	
		各コマにおける授業予定	テキスト4章-1について説明します。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床神経学各論の中の、脳血管障害について理解する。	同上	同上	
		各コマにおける授業予定	テキスト4章-1について説明します。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床神経学各論の中の、頭部外傷、神経変性疾患について理解する。	同上	同上	
		各コマにおける授業予定	テキスト4章-2、5について説明します。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床神経学各論の中の、神経変性疾患について理解する。	同上	同上
		各コマにおける授業予定	テキスト4章-5について説明します。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床神経学各論の中の、認知症について理解する。	同上	同上
		各コマにおける授業予定	テキスト4章-6について説明します。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床神経学各論の中の、脱髄疾患、末梢神経障害について理解する。	同上	同上
		各コマにおける授業予定	テキスト4章-8、9について説明します。		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			